

## 男体山眺望の山とキャンプ 日光・社山

日時：2019年5月25日（土）

コース：歌が浜 8:42—阿世湯峠 10:07/10:18—社山 11:30/12:16—阿世湯峠 13:08/13:24—  
歌が浜 14:45

### 【社山ハイク】

紅葉で有名な日光だが、実は私は、日光は5月下旬から6月初旬あたりが一年で一番美しい季節なのではないかと思っている。からっとしたさわやかな風に、まだ薄い黄緑色の新緑、真っ青な空と中禅寺湖、そして大きな男体山とただ一人向き合い釣りをする釣り人たちの姿。中禅寺湖を挟んで男体山と向かい合う位置にある社山は、そんな景色を存分に楽しむのに絶好のハイキングコースである。



阿世湯までは大使館の別荘を通る湖畔の平坦な道、そこからは高度を上げて、最終的には樹林帯を抜けて見晴らしのよい尾根に出る。その後は、振り返るたびに男体山に中禅寺湖、今登ってきた尾根道が全部見えてまさに絶景！アカヤシオはほぼ終盤で、シロヤシオの開花時期にはまだ早かったけど、なんと山頂付近にはまだ桜が残っていた。期待したものが必ず見られるとは限らないけど、期待してなかったものが見られることもある・・・ホント、山って来てみないとわからない。

### 【個テントでキャンプ】



下山後は、菖蒲が浜キャンプ場で鴨志田さんと合流した。鴨志田さんはこの日、女峰山→太郎山と縦走する予定だったところ、踏み抜きだらけの雪道だったため、縦走は中止して、代わりに中禅寺湖を一周してきたそうだ（・・・って一周26キロもありますけど?）。

各自テントを張った後は宴会タイム。山崎シェフが最初のつまみに「ぶりのなめろう」（生魚!）を出してくるという離れ業をやったのけた後、次から次へと肉を焼き、ひたすら「食べる人」に徹する我々・・・さらにヤマダは、メスティンでさりげなく米を炊いていた鴨志田さんからカレーのおすそわけまでいただき、普段の食生活より10倍豪華なディナーを楽しんだ。

それにしても今どきのキャンプ事情はすごい。周囲を見回してみると、テーブルやら椅子やら持ち込んで（中にはダブルベッドまで?!）、家のリビング、キッチン、寝室をそのまま持ってきましてみたいなおもてなし・・・あそこまではさすがに無理だけど、なんか焚火台だけでもほしくなるな～。

山賀リーダー、日光が一番キレイな季節に、楽しい山行を計画してくださり、ありがとうございました！